



はやし 幹 林もとひとと県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

2月県議会一般質問 成田市特集



2月定例県議会で一般質問に立つ林もとひと県議

国際空港都市づくり オール千葉で推進を

国際空港都市・ナリタの発展に向け、35歳の熱き情熱を県政にぶつける林幹人(はやし・もとひと)県議Ⅱ成田市選出Ⅱ。首都圏における国際線の基幹空港である成田国際空港を擁する成田市の未来を常に考え、バランスのある国際空港都市づくりを目指して昨年4月の県議選に立候補、初当選を飾りました。はつらつと県議活動にまい進していきます。空港関連会社勤務を経て衆議院議員秘書へ。政治・政策の経験を活かし、国政との太いパイプで県と成田市との連携を図り、地域発展のために努力するという林県議。2月県議会一般質問の様子を特集しました。

成田空港問題で質疑

林 成田国際空港都市づくり推進会議への取り組みで、県の考えはどうか。
知事 「推進会議」は2月25日に第2回会議が開かれ、第3回の会議では各市町の意見を踏まえて施策の方向づけの中間とりまとめを行

うと同時に、空港都市づくりの参考にするため、成田空港の容量拡大の可能性について空港会社から説明を受けました。
県としても「推進会議」に連動して、副知事を本部長とする「国際空港づくり庁内連絡会議」を開き、全庁的な協力体制を整備したところです。
林 県は「推進会議」にオブザーバー的な立場で、何となく一歩引いた対応に思える。
観光や健康福祉のようなプロジェクトと同等以上の取り組みがあつて然るべきと思うがどうか。
知事 県が積極的に関わっているのは成田新高速鉄道とか北千葉道路とかインフラの類です。9市町も総合的な力を発揮して、県と市町の両方が組み合わせられた時に、より大きな力が出る。今回は「底力」を出したいと本気で思っています。
林 空港問題はまだオール千葉の懸案事項になりきれていないとの実感がある。悲しいことに千葉県内にも(国際線も)羽田の方が便利だから羽田でいいとの声がある。
県がさらに主導して、全県民にPRして空港の必要性、オール千葉として本来の意味で空港推進に当たっていただきたい。

体感基準値設定に課題も

航空機騒音の環境基準改正

県としては、この改正で航空機騒音の評価が、より適正に行われるものと受け止めていますが、今回の改正では考慮されなかった体感に即した基準値の設定を、今後とも国に対して働きかけてまいります。

林 航空機騒音にかかる環境基準の改正について、県はどのように受け止めているか。
環境生活部長 現行の環境基準では、
(1) 暫定平行滑走路供用後の2本の滑走路による騒音が、滑走路1本の時よりも低く評価される、いわゆる「逆転現象」の問題があること
(2) 睡眠に与える悪影響など体感に即した評価方法になっていないことから、県および空港周辺市町村等では、その改善を国に要望していたところです。
これを受けて国では、環境基準の改正を行い、平成25年度から施行することとしました。

林もとひと県議・プロフィール

| ○略 歴○ | |
|----------|--------------------|
| 昭和48年 9月 | 銚子市に生まれる |
| 平成 4年 3月 | 銚子市立銚子高校卒業 |
| 平成 8年 3月 | 玉川大学文学部卒業 |
| 5月 | 米国ロードアイランド州語学留学 |
| 平成10年 4月 | 空港グランドサービス入社 |
| 平成12年 4月 | 衆議院議員・山崎拓秘書 |
| 平成15年 4月 | 衆議院議員・林幹雄秘書(成田市担当) |
| 平成19年 4月 | 千葉県議会議員初当選 |

| ○現 職○ | |
|-------|---------------|
| ● 県議会 | 健康福祉常任委員会委員 |
| ● 千葉県 | 国土利用計画地方審議会委員 |

● 県政や成田市のご相談・ご要望はお気軽にどうぞ 〒286-0134 成田市東和田569 なるげや陶器ビル1階F号
林もとひと 県議事務所
TEL 0476-20-0884
FAX 0476-20-0885
Eメール: motohito884@gmail.com

県農産物の販売促進対策 年間通しPR/見本市・商談会

農業体験でファンづくり

2月県議会一般質問で再質問する

林 県産農産物の販売流通対策で、今回の総合販売戦略の平成20年度の重点施策は何か。
農林水産部長 平成20年度

の重点施策として、1、年間を通して切れ目なく集中的に県産品をPRする「農林水産物ディスプレイキャンペーン」の

実施 2、隠れた名品や新商品などを県内および全国のバイヤーに紹介する見本市・商談会の開催

3、一流店のシェフやバイヤーなどのアドバイスを取り入れた高付加価値商品づくり
4、花摘みやイチゴ狩りなどの農業体験を通じたフ

アンづくりなどを県や市町村、関係団体等が一体となってオール千葉県で取り組むことで販売強化に努めてまいります。

林 加工・業務用需要が増大する中、食品産業との連携が重要と考えるが、県はどのように進めるのか。
農林水産部長 県では、平成18年7月、生産者団体や食品製造業者などで組織する「ちばの食産業連絡協議会」を設立しました。

現在、輸入食品への不信感から国産、県産品への期待が高まり、加工・業務用の需要についても安全・安心な県産農産物の供給が求められています。

このため、「カット野菜などの一次加工処理機能を有した集出荷施設の整備」「食品産業等のニーズに対応した産地の育成」「地域資源でもある特色ある農産物を生かした新商品の開発」などで連携して、競争力ある農林水産業の構築に努めます。



ハウス栽培を視察

通報装置のほか 訓練にも県助成

私立幼稚園の 防犯対策促進

林 私立幼稚園の防犯対策を促進すべきと思うが、県としてどのように考えているのか。

総務部長 子供が被害者となる事件が全国的に多発していることから、私立幼稚園においても園児の安全を確保するため、防犯対策を

一層推進することが重要と考えています。県ではこれまでに、警察への非常通報装置や防犯カメラの設置等に対し助成を行い、私立幼稚園の防犯設備の充実を図ったところで

層取り組むことが重要であることから、「私立幼稚園安全対策教育促進事業」を創設し、教職員、園児、さらには保護者、地域住民に対し実施する防犯訓練や安全教育等について助成することにしました。

今後とも、私立幼稚園の防犯対策が一層促進されるよう、努めてまいります。

林 第3次県障害者計画の進捗よく状況と今後の見通しはどうか。
健康福祉部長 福祉をはじめ雇用、教育、スポーツ文化など幅広い分野にわたり約380の事業を実施することとし、グループホーム

の整備量など57の施策項目に数値目標を定めています。これらの事業のうち重度重複障害者のグループホームの創設や医師に障害者1人ひとりの特性を伝え、円滑に診療を行ってもらうための受診支援手帳の作成など8割近い事業を実施に移しています。

林 次期障害者計画をどのように策定しようとしているのか。
健康福祉部長 第3次計画が平成20年度で終期を迎え

成田市特集 2月県議会一般質問

県政に熱き情熱

林もとひと県議

林 加工・業務用需要が増大する中、食品産業との連携が重要と考えるが、県はどのように進めるのか。
農林水産部長 県では、平成18年7月、生産者団体や食品製造業者などで組織する「ちばの食産業連絡協議会」を設立しました。

現在、輸入食品への不信感から国産、県産品への期待が高まり、加工・業務用の需要についても安全・安心な県産農産物の供給が求められています。